

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市鶴沼東Ⅱ計画新築工事	階数	地上15F
建設地	藤沢市鶴沼東1番3	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	718人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2019年12月12日
敷地面積	4,193㎡	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	1,930㎡	確認日	2019年12月23日
延床面積	18,386㎡	確認者	(株)長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
JR藤沢駅から徒歩7分の商業地に、共同住宅・店舗及び診療所の複合用途の建築物を、特に周辺地域の景観に配慮して計画した。		
Q1 室内環境 ・二重壁によりDr値50を目標値として設定。 ・建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱性能等級4を取得予定。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。	LR2 資源・マテリアル ・二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される